

JARL

香川クラブ報

No. 396 平成26年8月15日



J A 5 Y D E

フィールドミーティングに参加して

J I 5 V U Z

今回、初めて参加する事を、前日に三木副会長に連絡して快諾してもらい当日、会報の地図を頼りに向かったのですが、カントリーの行き止まりまで車で行きわからないなあと思いながら車を降りて見渡してみると、JA5YDEが大きく見えさらにクラブの旗も確認できて会場に到着しました。到着するとすっかり照明や扇風機等の準備が出来ており坂内さんが設営した事をお聞きして感謝しています。連日35度を超える猛暑が続いており屋外でのバーベキューは久しぶりなので大いに楽しみ、各人が自分の役割をわかっているようで次々焼いて下さり最後には焼きそば担当が見事な手つきでこしらえ美味しく頂きました。三好会長に日本酒を飲んで頂き盛り上がり思い出に残る事が出来、その後、別宅に移動して HF の交信を見せてもらいそのまま休ませて頂き、翌朝帰宅しました。



フィールドミーティング参加者 (16名)

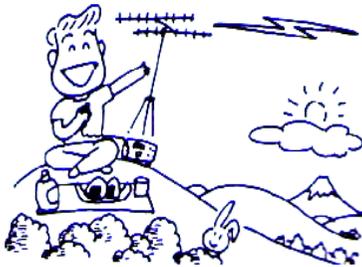
JA51JL、JA5TOP、JA5UVT、JH5EZB、JH5LYW、JE5PBO、JF5ICA、JF5ICB、JG5OBX、JG5TJJ、JI5SAO、JI5VUZ、JJ5CAE、JG5TJJ-2nd、クラブ員外 (JA5GDN、JG5JXW) 資材協力 JI5XTP

コンテスト参加報告

「JA5YDE」がコンテストに参加しました。
 オールJA5コンテスト(7/19~20)

バンド	交信局数	マルチ	得点
3.5MHz	55局	29	55点
7MHz	32局	19	31点
14MHz	13局	8	13点
21MHz	3局	3	3点
合計	103局	59	102点
得点	6,018点		

Op.JH5LYW



JARL主催コンテスト

JARL主催コンテストその他クラブ
 対抗部門があるコンテストに参加した
 時には、サマリーシートの登録クラブ
 対抗欄に

登録クラブ 番号	36-1-1
登録クラブ 名称	JARL香川クラブ

と記入するようにお願いします。
 個人のアクティビティー向上とクラ
 ブの活性化のため、どしどしコンテス
 トに参加しましょう。

8月の各支部・各クラブコンテスト

*第35回KCJコンテスト

8月16日(土) 21:00~17日(日) 21:00

周波数帯 : 1.9MHz、3.5MHz、7MHz、14MHz、21MHz、28MHz、50MHz

交換ナンバー : RST+運用場所の都府県振興局名略称 例 : 599KA
 (KAは香川県)

*第23回ギガヘルツコンテスト

8月16日(土) 21:00~17日(日) 21:00

周波数帯 : 1.2G、2.4G、5.6G

コンテストナンバー : RS(T)+市郡区ナンバー

*第40回オール佐賀コンテスト

8月30日(土) 21:00~31日(日) 21:00 第40回オール佐賀コンテスト

周波数帯 : 1.9MHz、3.5MHz、7MHz、14MHz、21MHz、28MHz、50MHz、144MHz
 430MHz

コンテストナンバー : RS(T)+都府県支庁ナンバー

JARL 第3回定時社員総会に参加して

JH5LYW 三好伸幸

6月15日(日)「JARL 第3回定時社員総会」が、昨年と同じく東京西新宿にある“ベルサール西新宿”において開催され、JARL 香川県支部長 JA5ARW 森國氏と共に参加してきました。



すでに、JARLweb などを通じてご承知のこととは思いますが報告しておきます。

例年通り社員総会は13時に始まり、JARL 会長 JA5MG 稲毛氏のあいさつに引き続き議長団が選出されました。

冒頭、選出された議長団に不信があるとの意見があり、急遽議長団の信任について賛否が問われる事態になりました。

賛否の結果、信任が大多数で通常通りの社員総会に移り、社員総数132名中、開会時の出席社員数は108名に委任状等10名の出席で総会は成立し議事に入りました。(最終出席者は126名)

第1号議案「平成25年度決算」について説明があり、なかでもJARL 事務所の移転(豊島区南大塚にある大塚HTビル6階へ)およびJARLのインター

ネット環境ならびにシステム関係を処理していた業者の乗り換え(アグレックス社へ)、そしてライフメンバー制度の導入など、赤字解消にむけ経費節減に取り組んでいることが説明されました。

その後、事前に提出されている質問状に基づき事務局から答弁があり、それに対する討議が熱心になされました。

どの分野も一緒ですが、前向きな建設的意見もあれば後ろ向きで個人的な意見もあり、共感できない意見も多々見受けられましたが14時38分賛成多数で可決されました。

今年は役員改選の年であり、先般実施された役員選挙で当選された理事が社員総会で選任されることになっています。

第2号議案「役員選任」について、まず議長から役員は総会において最終決定がなされる根拠や役員の選任方法について説明がありました。

役員の選任については、法律により例外を除き一括採決の方法はとらず、役員一人ひとりについて選任するようになっていますので、役員一人ひとりについて採決は挙手を以て信任を問い、議長が賛否不明と判断したときは投票によって採決を行う。投票は投票用紙を配布し集



計する旨が説明されました。(前年は挙手の数を数えて決定したため時間がかかった) 集計などの時間の合間を利用して 10 分あまりの休憩を挟み再開され、下記の通り役員が決定されました。

法律とはいえ、選挙と総会での信任について、今回も後味の悪い結果となりました。

	氏名	コールサイン	備考	信任	不信任	棄権	結果
1	草野 利一	JA1ELY	全国理事	50	67	9	不信任
2	伏見 美幸	JA1LVB	推薦理事	賛成多数			信任
3	玉眞 博義	JA1SLS	推薦理事	賛成多数			信任
4	高尾 義則	JG1KTC	全国理事	賛成多数			信任
5	前田 吉実	JH1XUP	関東地方本部	賛成多数			信任
6	土屋 正道	JA2GXU	東海地方本部	47	69	10	不信任
7	種村 一郎	JG2GFX	全国理事	賛成多数			信任
8	長谷川 良彦	JA3HXJ	関西地方本部	賛成多数			信任
9	安孫子 達	JH3GXF	全国理事	賛成多数			信任
10	網島 俊昭	JA4DLF	中国地方本部	賛成多数			信任
11	森田 耕司	JA5SUD	四国地方本部	賛成多数			信任
12	河喜多 勝	JA6BXA	九州地方本部	賛成多数			信任
13	山之内 俊彦	JA7AIW	東北地方本部	賛成多数			信任
14	正村 琢磨	JH8HLU	北海道地方本部	賛成多数			信任
15	柴田 雄司	JA9BHE	北陸地方本部	賛成多数			信任
16	前川 公男	JA9BOH	全国理事	賛成多数			信任
17	高橋 哲也	JF0JYR	信越地方本部	賛成多数			信任
18	松村 恒雄	JA1RTG	監事	賛成多数			信任
19	永井 暉久	JA3DKW	監事	賛成多数			信任

今回の役員選出について、私は草野氏と土屋氏ともに不信任としました。理由としては、前回役員選出のときと同じで意見なり改革について議論することは否定しませんが、自分達の意見以外は聞かない、従わない、覆すでは少なくとも私は賛同できるものではありません。クラブ内にも、私の下した結論に異論がある方もいるかと存じますがご理解くださいますようお願いいたします。

また、質問なり、ご意見などありましたらいつでもクラブ会長としてでなく、四国選出の社員としてお答えしますのでお問合せください。

その後、平成 25 年度事業報告、平成 26 年度収支予算および平成 26 年度事業計画が報告、質疑応答がおこなわれ 17 時 8 分に社員総会の全てが終了しました。



なお、JARL が社団法人から一般社団法人に移行し、数々の難題を抱えた中で JARL 会長として尽力されてきた JA5MG 稲毛会長が、今総会をもって定年退任することとなり、盛大な拍手で見送られました。稲毛 OM 本当に長い間お疲れ様でした。

2014 年全日本 ARDF 競技大会開催案内

*開催日 エキシビジョン大会 (144MHz 帯競技) 平成 26 年 11 月 15 日 (土)
本大会 (3.5MHz 帯競技) 平成 26 年 11 月 16 日 (日)

*開催地 広島県福山市

*受付場所 〒720-0402 広島県福山市沼隈町中山南 26-1
「ツネイシしまなみビレッジセンターハウス」
競技についての問い合わせはしないでください。

*参加資格 参加資格の制限はなし (国外含む)

*参加費 1 日分の参加費
20 歳以上 : JARL 会員 ¥5,000 円、非会員 ¥10,000 円
19 歳以下 : JARL 会員 ¥2,000 円、非会員 ¥5,000 円
*傷害保険・昼食費を含む
*144MHz/3.5MHz とも参加される場合は、参加費の合計から 2,000 円
(19 歳以下は 1,000 円) を割り引きます。
*上記の年齢は、平成 26 年 12 月 31 日現在の満年齢です。

*参加申し込み方法

1. 参加申込書 (参加費計算書及び誓約書含む) 郵送受付
参加申込書用紙は、JARL 会員部業務課 ARDF 係へ宛先を記入し 82 円切手を貼った返信用封筒を同封して請求してください。また、JARL Web からも入手できます。
2. 参加費 (ゆうちょ銀行振替)
振替口座 : 東京 00120-2-318694
他行からの場合はゆうちょ銀行〇一九店 当座 0318694
一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
※ 参加申込書には、受領書のコピーを貼ってください。

*申込先・問合せ先

〒170-8073 東京都豊島区南大塚 3-43-1 JARL 会員部業務課気付
2014 年全日本 ARDF 競技大会係 電話 : 03-3988-8749

*受付期間 平成 26 年 8 月 1 日 (金) ~ 平成 26 年 8 月 31 日 (日) (消印有効)

*実行委員会事務局

〒710- 大崎二郎 JR4KEY
E-mail :

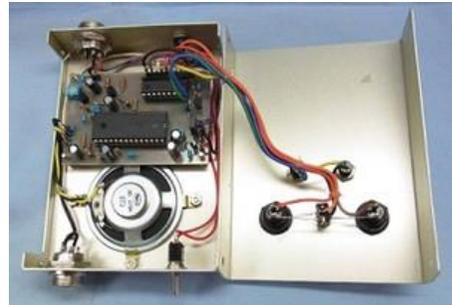
*詳しくは下記アドレスにアクセスをしてください。
<http://ardf2014.mydns.jp/>

製作技術講習会のご案内

移動運用、コンテストでCQとコールサインを繰り返し出す時、録音していたら便利と思ったことはありませんか？今回はマイクと送信機に接続して録音、そして再生が出来る【ワンフレーズの音声CQマシン】です。PICマイコンコントロールで実用上30秒の録音/再生が可能です。開発者のJ A 3 I A T又吉OMにお出でいただける予定になっています。

記

1. 日 時 平成26年9月14日(日)10時～17時
2. 場 所 丸亀市綾歌町栗熊西 1638 栗熊コミュニティセンター
3. 参加費 ¥7,500円予定(当日集金)
4. 準備物 ハンダごて(15～30W)、1mm以下のハンダ、こて台、ニッパー、ラジオペンチ等を持参下さい。
5. その他 穴あけ済みケース付ですべての部品が付いています。
動作電圧：9V～14V 消費電流：50mA
6. 申 込 往復葉書またはE-mail
〒761-
平賀 正明 方 製作講習会係
E-mail 受付は
7. 締 切 平成26年8月31日(金)必着
・定員(16名)になりしだい締め切りますので、お早めにお申し込みください。
完成写真



ケースは参考事例でテイシン
TC-111 (W90×D125×H30 使用)

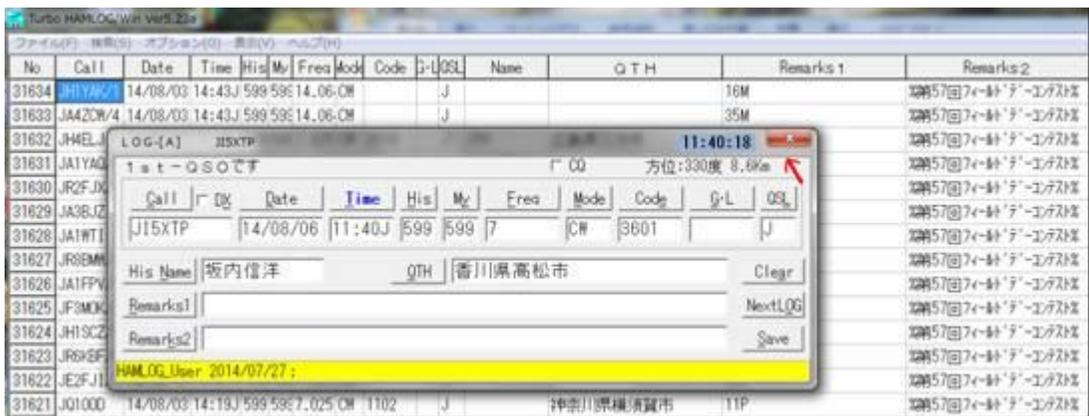
すぐれもの

J I 5 X T P

CQ誌8月号を購入すると「パソコンソフト集」の付録が付いていた。そのソフト集のなかには数多くのフリーソフトが収録されている。その中に当局がもっとも重宝をして使っているソフトが「Turbo HAMLOG」です。このソフトは当局が開局して間もないころに交信をしたOMが「こんなソフトがあるから使ってみたら」とソフトのあるアドレスを教えてくれた。パソコンにインストールをして使用してみるがわからないところが沢山あるので交信するたびに使い方や色々な機能を指導してもらった。またわからないところはマニュアルを読みながら何とか使えるようになった。このソフトの中には数多くの機能が有り当局はまだ半分くらいしか使いこなせていない。

ハムログは交信中に即キー入力ができればいいのだが、当局はキータッチが遅いのでコンテストや移動運用中に即パソコンに入力することは至難の業である。今は交信記録を紙ログに記載し移動運用やコンテストが終わった後でハムログに転記をしている。転記するとき自分で書いたログ帳の文字が読めずあたふたすることもよくある。

「やはりブライントタッチができなければいかんかなあ」。



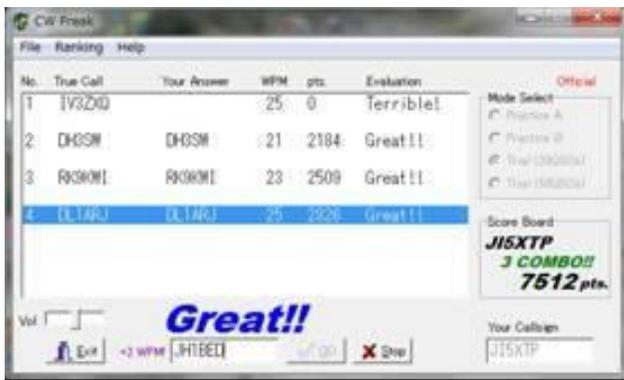
コンテストはコンテストが終了するとコンテストログやサマリーシートを提出しなければならない。そんな時にはハムログのデータを読み込んでコンテストログやサマリー



シートを作成するソフト「HLTST」を利用している。「HLTST」を立上げコンテストの設定をしてデータを選択するとコンテスト中に交信したデータをハムログから抽出しコンテストログとサマリーシートを作成する。そのデータとサマリーシートはソフト内に組み込まれているメールソフトを立ち上げログデータを貼り付けることによりコンテストログを即座に主催者に送ることが出来る。特にJARLコンテストはメールアドレスが登録されているのでログデータを貼り付け送信ボタンを押すだけで、即座にデータを送ることが出来る。

次に重宝しているソフトは「CW Freak」で、このソフトはコールサインの受信練習とブライントタッチの練習用に使っている。モールスで送出されるコールサインをパ

ソコンに入力し正解の合計点数を競うのである。入力したコールサインが正しければ「Great!!」半分以上があつていれば「So-So」半分以上が間違っていれば「Bad!」すべてを間違っていれば「Terrible!」が表示され次のコールサインが送出される。入力したコールサインが正解であれば次に送出されるコールサインのスピードが早くなる。入力したコールサインが間違っていれば次に送出されるコールサインのスピードは遅くなる。合計点数も出るのでゲーム感覚で楽しみながらキータッチの練習も出来る。当局はJA局のコールサインは多少早くても入力できるがDX局のコールサインは苦手です早く入力できない。なぜならJA局はプリフィックスが予測できるので気持ちに余裕ができるが、DX局は送出される符号を予測することが出来ず、また符号も短いのでよくミスをする。特に符号が短く短点が続くのは大の苦手である。またブラインドタッチの練習と思って画面を見ながらキータッチをしていると思うようにスピードが上がらず、気づけばキーボードを見ながら打ち込んでいる。ブラインドタッチの練習になってはいないが好きなのでよくパソコンの前に座ってキーをたたいている。



このゲームの最高得点者はDX局で371,004点 WPM 105、JA局の最高得点は172,304点 WPM75、当局は50,531点 WPM37であり、遠く足元にも及ばない。それにしてもWPM105はどのようにして受信するのだろうか。当局には「トロロロロー」と音としてしか聞こえないのだがDX局は符号として聞き取れているのだろうか。「ほんと人間の能力ですごいなあ」

先日フィールドデーコンテストで「599**P」と送信してくる局の信号の強いこと余程素晴らしいアンテナからのオンエアーだと感心をする。そんな時当局からの電波はどれ位の信号強度だろうか、音調はどのような感じだろうかと思う。パワー計を見ても正常な出力は出ているし、モニターで音を聞いてもそう不快ではないのだが気になる場所である。今回の付録ソフトの中に「同軸減衰シュミレータ」があった。このソフトは同軸ケーブルの減衰によって出力がどのくらい減衰しているか簡易的に計算をするソフトである。当局の同軸ケーブルはシャックからアンテナまでの距離が60mその内35mは地中に埋設している。早速ソフトをダウンロードしてパソコンに取り込み7MHz帯を計算してみると出力100Wが同軸ケーブルで20パーセント減衰されて約80Wの出力になっている。



ローパワーでもアンテナ設備をしっかりしておけば5Wの出力が50W以上の出力を醸し出すのに意気込んでハイパワー設備を構築してもアンテナの知識がなければ「599**P」にもかなわない。

あと付録の中で興味があるソフトにはアンテナシュミレータ「MMANA」、アンテナ設計解析「REAL-SAMM」、QSLカード作成ソフト「MMQSL」や機器の自作派にはプリント基板エディタ「PCBE」などがあつたので、リタイヤ後の楽しみにとっておこう。

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。

原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送付先：E-mail

Fax

郵送先：〒761-

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成66年(1948年10月結成)になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

*お知らせ

JARL香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。

また、平成26年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好	伸幸
編集者	JA5TFJ	横田	寿夫
	JA5TOP	平賀	正明
	JI5VUZ	市原	義博
	JI5XTP	坂内	信洋